

2020 年度 小委員会活動成果報告

(2021 年 1 月 26 日作成)

小委員会名	ユーザー・オリエンティド・デザイン小委員会	主 査 名：石橋 達勇 就任年月：2020 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (計画基礎運営委員会)	委員長名：小野田 泰明 主 査 名：日色 真帆
設 置 期 間	2020 年 4 月 ～ 2022 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>ノーマライゼーションの伸展に加え、近年は外国人居住者の増加や LGBT 当事者が社会的に話題になるなど、わが国は多様な人々が共生する社会となっている。しかし、このような人々による具体的な各種建築空間における行為の実施や場面における具体的な要件の知見の蓄積は、未だ不十分と考える。本小委員会では、上記の多様な特性を持つユーザーによる動作レベルの細かい動きではない行為や場面と建築・設備との関わりを諸施設事例から収集し整理体系化を図ることで、改めて両者の根源的な関係性を検討することを目的とする。</p> <p>初年度：委員会において収集する行為・場面を抽出・整理すると共に、それらが散見される公共施設種類の検討を行う。合わせて近年建築計画的な視点から話題となっている各種公共事例を選定し、担当委員が中心となり勉強会兼見学会の企画を行う。勉強会兼見学会は 3～4 回実施し、そこで得られた情報の建築計画的要点の整理と共有化を図り、随時補足的な情報収集も行う。</p> <p>2 年度：初年度に引き続き、担当委員が中心となり勉強会兼見学会の企画と 3～4 回の実施、得られた情報の整理・共有化、および補足的な情報収集を行う。また上記情報の蓄積の進捗情報を踏まえつつ、成果として書籍刊行の企画・準備も行う。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	主査：石橋達勇 (北海学園大学) 幹事：田中賢 (日本大学)、室崎千重 (奈良女子大学) 委員：鈴木義弘 (大分大宅)、松田雄二 (東京大学)、西野亜希子 (東京大学)、山崎晋 (日本大学)、加藤悠介 (金城学院大学)、柳瀬亮太 (信州大学)、松原茂樹 (大阪大学)、仲綾子 (東洋大学)、小菅瑠香 (帝塚山大学)、植田瑞昌 (国立障害者リハビリテーションセンター研究所)、藤井里咲 (東京電機大学)、西岡基夫 (大阪市立大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2020 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	

目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	新型コロナウイルス感染症蔓延への対応および防止のために勉強会兼見学会の企画および実施が困難となり実施できなかった。
委員会活動の問題点・課題	新型コロナウイルス感染症蔓延収束の見通しが立たないため、活動計画の大幅な見直しと、ビデオ通話システム等を活用した遠隔での委員会/催し物開催を行う必要がある。